



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社アプラスフィナンシャル 上場取引所 大
 コード番号 8589 URL http://www.aplusfinancial.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 郷司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業戦略部長 (氏名) 磯野 浩伸 TEL 03-5229-3986
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月1日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	47,694	△1.3	7,649	9.9	7,656	9.5	7,431	38.4
24年3月期第3四半期	48,312	△10.5	6,959	△11.0	6,994	△9.7	5,371	△21.4
(注) 包括利益	25年3月期第3四半期 7,495百万円 (39.1%)		24年3月期第3四半期 5,389百万円 (△21.6%)					

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.88	1.96
24年3月期第3四半期	3.52	1.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	1,079,645	91,480	8.5	△12.25
24年3月期	1,096,978	85,739	7.8	△17.14
(参考) 自己資本	25年3月期第3四半期 91,335百万円	24年3月期 85,637百万円		

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、「4. 種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。（「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照）

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,400	2.5	8,700	3.5	8,700	2.9	8,500	60.2	5.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）— 、除外 — 社（社名）—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	1,524,211,152株	24年3月期	1,524,211,152株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,036株	24年3月期	2,589株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	1,524,208,203株	24年3月期3Q	1,524,209,060株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社は平成8年3月期より普通株式に係る配当を実施しておりません。現時点では配当を行うかどうかについては未定であります。

4. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一回B種優先株式					
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				未定	未定
D種優先株式					
24年3月期	—	0.00	—	206.464	206.464
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				未定	未定
G種優先株式					
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				未定	未定
H種優先株式					
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				未定	未定

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や各種政策が景気を下支えする一方、欧州債務問題が長引くなか、海外経済をめぐる不確実性や円高などにより輸出や生産が弱含み、景気は次第に減速してまいりました。年末にかけては、政権交代によるデフレ脱却期待の高まりなど、僅かながら明るい兆しも見えてまいりました。

当業界におきましては、住宅関連市場の拡大によるショッピングクレジット需要の高まりや、ネットショッピングの浸透などを背景としたクレジットカード決済の広まりなど、事業環境は着実に好転してまいりましたが、一方で、これらの有望市場をめぐる業界内の競争は一段と激しさを増してまいりました。

このようななか、当社グループにおきましては、これまでに構築した多業種にわたる加盟店さまとのリレーションシップや、ショッピングクレジット事業を中心に発展した信販会社としてのノウハウ、全国の金融機関との口座振替契約に基づく決済インフラなどを積極的に活用し、既存の事業を複合的に発展させる形で、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。

主要取引先の一つで、日本最大の共通ポイントサービス「Tポイント」を運営する株式会社Tポイント・ジャパンとの提携により取り組む「Tポイント付きショッピングクレジット」は、多くのお客さまや加盟店さまのご支持により、着実に浸透してまいりました。また、当社グループにおけるTポイントサービスの新たな事業展開として、平成24年11月より、毎月の家賃の支払でTポイントが貯まる「Tポイント付きアプラス家賃サービス」の取り扱いを開始いたしました。

カード事業における新たな取り組みとしましては、平成24年7月、サッカーのイングランドプレミアリーグに所属するマンチェスター・ユナイテッド・フットボール・クラブと業務提携契約を締結し、日本国内における同クラブファン向けクレジットカード（「マンチェスター・ユナイテッドカード GOLD」、「マンチェスター・ユナイテッドカード」）の発行を開始いたしました。

また、新生銀行グループにおける取り組みとしましては、新生銀行グループ統一カード（「新生アプラスゴールドカード」、「新生アプラスカード」）の発行を開始いたしました。これにより、これまでカードの種類ごとに異なっていたデザイン、国際ブランド、適用キャンペーンなどが統一されることとなり、新生銀行グループのカード会員のお客さまに対し、より分かりやすく、質の高いサービスの提供が可能となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は476億94百万円（前第3四半期連結累計期間比1.3%減）と、融資収益の減少を主因に減収となりましたが、主力のショッピングクレジット事業やクレジットカード事業などが堅調に推移し、減収幅は縮小いたしました。営業費用は貸倒引当金繰入額の減少などにより400億44百万円（同3.2%減）となりました。この結果、営業利益は76億49百万円（同9.9%増）、経常利益は76億56百万円（同9.5%増）、四半期純利益は74億31百万円（同38.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比173億32百万円減少の1兆796億45百万円となりました。これは主として、現金及び預金、信用保証割賦売掛金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比230億73百万円減少の9,881億65百万円となりました。これは主として、信用保証買掛金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比57億40百万円増加の914億80百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月8日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,010	46,343
割賦売掛金	339,573	341,058
信用保証割賦売掛金	525,966	486,073
その他	133,695	203,530
貸倒引当金	△28,541	△28,527
流動資産合計	1,059,705	1,048,478
固定資産		
有形固定資産	9,732	8,762
無形固定資産		
のれん	3,363	2,732
その他	12,043	11,392
無形固定資産合計	15,406	14,125
投資その他の資産	12,134	8,278
固定資産合計	37,273	31,166
資産合計	1,096,978	1,079,645
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,301	19,068
信用保証買掛金	525,966	486,073
短期借入金	161,281	167,161
未払法人税等	361	510
賞与引当金	1,140	663
ポイント引当金	525	557
債権流動化預り金	121,811	137,383
その他	131,606	147,997
流動負債合計	962,994	959,414
固定負債		
長期借入金	35,893	20,544
退職給付引当金	882	927
役員退職慰労引当金	143	163
利息返還損失引当金	10,620	6,639
その他	706	475
固定負債合計	48,244	28,750
負債合計	1,011,238	988,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	54,916	54,916
利益剰余金	15,724	21,400
自己株式	△0	△0
株主資本合計	85,640	91,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	18
その他の包括利益累計額合計	△2	18
少数株主持分	102	145
純資産合計	85,739	91,480
負債純資産合計	1,096,978	1,079,645

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益		
包括信用購入あっせん収益	9,266	10,334
個別信用購入あっせん収益	6,673	7,410
信用保証収益	11,247	10,517
融資収益	12,702	9,770
金融収益	2,086	2,931
その他の営業収益	6,335	6,730
営業収益合計	48,312	47,694
営業費用		
販売費及び一般管理費	39,660	38,177
金融費用	1,692	1,867
営業費用合計	41,353	40,044
営業利益	6,959	7,649
営業外収益		
投資有価証券売却益	—	17
雑収入	56	50
営業外収益合計	56	68
営業外費用		
固定資産除却損	15	—
投資有価証券売却損	—	52
雑損失	6	9
営業外費用合計	21	61
経常利益	6,994	7,656
税金等調整前四半期純利益	6,994	7,656
法人税、住民税及び事業税	370	183
法人税等調整額	1,215	△1
法人税等合計	1,586	181
少数株主損益調整前四半期純利益	5,408	7,474
少数株主利益	37	43
四半期純利益	5,371	7,431
少数株主利益	37	43
少数株主損益調整前四半期純利益	5,408	7,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	21
その他の包括利益合計	△18	21
四半期包括利益	5,389	7,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,352	7,452
少数株主に係る四半期包括利益	36	42

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。